

平成25年 富士見町重大ニュース



◆富士見メガソーラー完成(11月)

富士見町は自然エネルギーを最大限有効活用するために、メガソーラー事業に着手し、本格稼働を開始しました。年間発電量は2,422,500kwhで一般家庭500戸に相当します。再生可能エネルギーの普及促進と自然エネルギーの町、そしてさらなる安心安全の町として新たな幕開けを迎えました。



◆川崎市友好協定締結20周年記念式典(7月)

富士見町と川崎市は平成5年に友好協定を結んで20周年を迎えたことを記念し、「富士見パノラマリゾート」で式典を開催しました。また、ヤマザクラやヤマモミジなどの記念植樹をゴンドラ山頂駅付近で行い、今後も末永く友好を深めることを確認しました。



◆富士見町長選挙(8月)

任期満了に伴う町長選挙で、小林一彦氏が再選され二期目がスタートしました。9月には副町長に名取重治氏が任命され、明るい未来の町づくりが進みます。



◆長野県消防ポンプ操法大会優勝(8月)

諏訪地区代表としてポンプ自動車の部に出場した富士見町消防団第一分団が、3年ぶりの優勝を果たしました。また、9月には知事表敬を行いました。



◆全国学校給食甲子園大会に富士見中学校が 出場(12月)

地元食材を使って学校給食のおいしさや栄養、調理技術などを競う「第8回全国学校給食甲子園大会」に出場し、高い評価を受け「東京ガス賞」を受賞しました。



◆図書館貸出数15年連続日本一を達成(年間)

同規模の自治体図書館における町民一人あたりの年間貸出冊数が、15年連続で日本一となりました。



◆有害鳥獣電気柵監視 通報システム導入(12月)

機器メーカーと共同開発してきた電気柵遠隔監視システムの、本格導入を開始しました。電気柵の電圧異常を各地区でもインターネットを介して常時確認でき、保守管理作業の効率化が実現しました。



◆富士見高校園芸科が 日本学校農業クラブ全国 大会に出場(10月)

富士見高校園芸科は北信越大会で最優秀賞を受賞し、全国大会において「釜無ホテイアツモリソウの栽培技術の確立と試験的販売を目指して」を発表しました。



◆八ヶ岳観光圏が新観光 圏に指定(4月)

北杜市・富士見町・原村で構成する八ヶ岳観光圏が、観光庁から新観光圏に選ばれました。新観光圏は全国49観光圏のうち、魅力ある地域として6カ所認定されています。